

製粉振興 平成26年 (No.565~573) 目次

月別	巻頭言(題名)	解説、レポート、随想、ソフト&ハード	執筆者
		題名	
1		<p>新たな時代を迎えた国内産小麦に関する研究 —日本の小麦需給に関する研究の変遷—</p> <p>乾めんの製造規格について</p> <p>製粉と小麦粉のお国ぶり —その26— モロッコ</p> <p>小麦粉のある風景 ワンタン大好き</p>	<p>吉田 行 郷</p> <p>安 藤 剛 久</p> <p>長 尾 精 一</p> <p>ひらの あさか</p>
2	平成26年に製粉産業が取り組むべき課題について	<p>平成26年産国内産小麦の入札取引について</p> <p>いつまでも泡とおいしさ</p> <p>小麦・小麦粉・めん・パンの来た道 I. 農耕と小麦栽培</p>	<p>宮 本 佳 明</p> <p>畑 江 敬 子</p> <p>重 田 勉</p>
3	輸入小麦の政府売渡価格決定及び今後の課題	<p>「強い農林水産業」を創り上げるための4つの改革</p> <p>我国のパン産業の課題(その1) 世界に誇るソフトなパンづくり～次はその製法の合理化～</p> <p>小麦粉のある風景 「パンケーキ」が食べたい</p>	<p>農 林 水 産 省 大臣官房政策課</p> <p>井 上 好 文</p> <p>ひらの あさか</p>
4	平成26年度の「麦の需給に関する見通し」について	<p>我国のパン産業の課題(その2) ～クラスティあるいはクリスピーなクラストの 美味しさを合理的にアピールする～</p> <p>プレミックス業界をめぐる最近の動向</p> <p>製粉と小麦粉のお国ぶり —その27— ポーランド</p>	<p>井 上 好 文</p> <p>秦 英 世</p> <p>長 尾 精 一</p>
5	日豪EPA交渉の大筋合意とTPP交渉の今後	<p>我国のパン産業の課題(その3) ～国内産小麦のパンへの利用について～</p> <p>「USDA(米国農務省)2023年農業見通し」の概要</p> <p>和食と小麦粉</p> <p>小麦粉のある風景 フライ大好き</p>	<p>井 上 好 文</p> <p>上 林 篤 幸</p> <p>畑 江 敬 子</p> <p>ひらの あさか</p>

月別	巻頭言(題名)	解説、レポート、随想、ソフト&ハード	執筆者
		題名	
6	平成27年産民間流通制度の仕組み決定について	<p>パスタ食を通じた健康づくり</p> <p>製粉と小麦粉のお国ぶり —その28— ナイジェリア</p> <p>小麦・小麦粉・めん・パンの来た道 II. めんの来た道(その1)</p>	<p>横山 淳一</p> <p>長尾 精一</p> <p>重田 勉</p>
7	消費税率上げをめぐる課題について	<p>食品トレーサビリティ「実践的なマニュアル」 ～食品トレーサビリティの現状と課題を踏まえて～</p> <p>小麦粉のある風景 ラスクとフレンチトースト</p>	<p>宮部 大輝</p> <p>ひらの あさか</p>
9	平成26年10月期輸入小麦の政府売渡価格の改定にあたり	<p>平成27年産国内産小麦の取引の仕組み</p> <p>平成25年産国内産小麦の品質試験について (市場流通品の調査結果)</p> <p>インドの小麦を巡る新たな課題 —公的分配システムに起因する過剰在庫問題</p> <p>和食と小麦粉—カステラは和食か?</p> <p>小麦粉のある風景 愛しのパウムクーヘン</p>	<p>宮本 佳明</p> <p>加藤 武弘</p> <p>草野 拓司</p> <p>畑江 敬子</p> <p>ひらの あさか</p>
11	平成27年産国内産小麦の入札及び今後の課題	<p>主産地毎にみた近年の国内産小麦に対する需要の変化と需要拡大に向けた新たな動き</p> <p>「OECD-FAO農業見通し 2014-2023」</p> <p>最近の外食・中食産業の動向</p> <p>麩</p> <p>小麦粉のある風景 イギリスはやっぱりおいしい</p> <p>小麦・小麦粉・めん・パンの来た道 II. めんの来た道(その2)</p>	<p>吉田 行郷</p> <p>上林 篤幸</p> <p>堀田 宗徳</p> <p>畑江 敬子</p> <p>ひらの あさか</p> <p>重田 勉</p>